

運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や活動、経営に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

CO・OPきょうどう店 竣工式を執り行いました

9月2日(火)、とやま生協として初出店となるスーパーマーケット『CO・OPきょうどう店』(富山市経堂地区)の竣工式を執り行い、富山市新庄校下自治振興会会長や経堂地区町内会長、とやま生協役職員、工事関係者約30名が参列しました。



寺岡理事長 挨拶



くす玉開披

CO・OPきょうどう店は10月のオープンに向けて建設工事が今年2月から始まり、予定通り8月末に完成しました。

竣工式の中で寺岡理事長から、「とやま生協として初めての大型店の出店となります。地域の方々からは『近くにお店ができて助かる』『オープンが楽しみ』と多くのお声をいただき、オープン前ですでに1,400名を超える方にとやま生協に新規ご加入いただいています。(9/12時点 2,216名加入)店内では、地元野菜や惣菜・水産・精肉・冷凍食品まで幅広く取り揃え、生協ならではの商品も多数ご用意し、地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。これからオープンに向け、組合員・地域の皆様のご期待に応えられるよう、役職員一同力を合わせて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします」と挨拶しました。

続いて新庄校下自治振興会会長より祝辞をいただき、地域として新店舗の完成を喜ぶ気持ちや、住民がオープンを心待ちにしていること、あわせて今後の地域コミュニティへの積極的な参加と協力、地域経済活性化の貢献への期待のお言葉をいただきました。

竣工式の後には、参列いただいた方々にCO・OPきょうどう店舗内を見学していただきました。

今後は間近に迫ったオープンの準備を進めてまいります。



広々としたガラス張りのエントランス



冷凍食品コーナー



水産コーナー

【目次】

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1、CO・OPきょうどう店 竣工式を執り行いました | 表紙 |
| 2、産直キッチン(東部会場・富山会場)を開催しました | P 2 |
| 3、福祉施設「輝くろべ」で100歳をお祝いしました | P 2 |
| 4、理事会だより、経営実績報告 | P 3 |
| 5、重点課題で取り組んだこと | P 3 |
| 6、第5期総代就任ありがとうございます | P 4 |
| 7、ピースアクションinヒロシマに参加しました | P 4 |
| 8、被爆ピアノコンサートが開催されました | P 4 |

とやま生活協同組合

<https://www.toyama.coop/>

富山市金屋555

フリーダイヤル

☎: 0120-555-192

発行: 経営企画G



産直キッチン(東部会場・富山会場)を開催しました

8月20日(水)東部センター、8月22日(金)富山センターを会場として「産直キッチン」を開催しました。

「産直キッチン」は生産者と交流しながら産直産地の商品について学習し、商品を使用して生産者と一緒に料理を作って味わうことで、商品の良さやおいしい食べ方を学ぶイベントです。

今年は、2025年2月に産直産地に認定された(株)ファニーファームベジタブルと、とやま生協のプライベートブランド商品「とやま生協牛乳」を製造しているとやまアルペン乳業株式会社の方にお越しいただきました。最初に商品の説明や生産・製造の工夫や努力に関して話を聞き、その後調理を行いました。夏休み期間という事でお子さん・お孫さんと参加された方もおり、一緒に学習＆調理体験ができたことも喜ばれました。(当日参加47名)



小松菜と牛乳を使って作った6品

- 豚肉ときくらげの和風たまご炒め
- 小松菜とちくわの胡麻みそバター炒め
- 一口揚げグラタン
- カリカリベーコンとカッテージチーズのサラダ
- ミルクもち
- グリーンスムージー



ファニーファームの小松菜



とやま生協牛乳



福祉施設「輝くろべ」で100歳をお祝いしました

8月12日(火)、小規模多機能型居宅介護施設「とやま生協 輝くろべ」(黒部市牧野)にて、ご利用者様の100歳のお祝いを行いました。8月5日に100歳の誕生日を迎えられ、当日は黒部市市長や黒部市社会福祉協議会会長にご来所いただき、お祝いの言葉と記念品授与が行われました。

式典終了後、参加された皆さんで音楽を楽しむ「ハッピーミュージック」を開催し、100歳をお祝いしました。はじめに演奏されたのは、長寿をお祝いする意味もある「君が代」。ピアノ演奏に合わせてみなさんで楽しく歌いました。その後も太鼓や鈴を鳴らしながら歌を歌ったり、職員もトーンチャイム演奏に参加したりと和やかな時間を過ごしました。

最後に、輝くろべの魚住施設長から「施設を利用されるときはいつも綺麗にお化粧されていて、凛とされた方だなと思っています。これからも輝くろべに通いながら、ずっとお元気でいてください」と挨拶がありました。職員からは、輝くろべの様子を映した写真や職員からメッセージボードをプレゼントし、嬉しそうに受け取っておられました。



100歳を迎えられた坂口さん



職員からのメッセージボードをプレゼント



「ハッピーミュージック」

◇話し合われたこと

(承認事項)

1. 2025年度7月度の事業・活動および経営報告の件
2. 就業規則改訂の件

(確認事項)

1. 秋のブロック総代会議開催の件
2. 2025年度12月事業及び年末商品取組み方針の件
3. CO・OPきょうどう店準備状況報告の件

◇7月度 事業・経営報告

(全体経営報告)

- ・総事業高は15億173万円で、予算比 98.4%、予算差-2,477万円です。
- ・経常剰余金は4,221万円で、予算差+1,262万円の実績です。

(機関運営、組合員活動報告等)

- ・総代選挙管理委員会を開催し、第5期の総代選出を7月14日から開始しました。
- ・7月1日より、高圧電力を使用している12事業所で「とやま水の郷でんき」を導入し、7月18日に北陸電力株式会社との証明書交付式を執り行いました。
- ・組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に54名が参加、36地域会で365名、せいきょうクラブ12回で82名の参加がありました。主な活動では、NP0団体との共同企画「健康生きがい講座」富山会場に26名、魚津会場に17名の参加や、「スマホの使い方講座（基礎編）」に32名の参加がありました。

重点課題で取り組んだこと

◆組合員の参加・参画

コープでわくわく企画

「カターレ富山のスタジアム見学＆試合観戦ツアー」を開催しました

とやま生協はJリーグに所属するカターレ富山と、2025シーズンのオフィシャルパートナー契約を締結しました。この契約を通じて、選手たちの活躍の後押しやスタジアムを訪れる多くのサポーター・地域住民の皆様・とやま生協の組合員に、より一層の感動と興奮をお届けできるよう連携を深めます。

8月30日(土)には組合員親子を対象とした「カターレ富山のスタジアム見学＆試合観戦ツアー」を開催し、組合員親子31組62名が参加しました。

試合開始前には普段選手が活躍しているピッチや選手が到着する前のロッカールーム、記録室や中継室などスタジアムの一般立ち入り禁止エリアを見学し、プロサッカーチームを支えるスタッフさんの仕事ぶりを見せてもらってスタジアムの情熱を感じ取ることができました。大人も子どもも大興奮な様子はとやま生協HPで詳しく報告しています。



とやま生協HP

当日の様子を
画像盛り沢山で
報告しています



スクリーンに自分たちの姿が！



選手のロッカールーム



中継室の様子



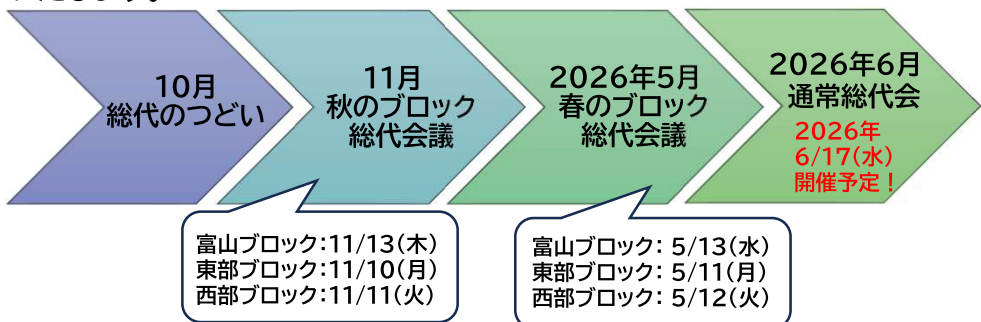
間近で選手の様子を見学！

第5期総代就任ありがとうございます

先日「第5期 総代当選通知」にてご案内したとおり、この度富山ブロックで176名、東部ブロックで74名、西部ブロックで150名の計400名の皆さんにとやま生協 第5期総代としてご就任いただきました。ありがとうございます。

この「運営通信」は総代の役割を担っていただく上で、皆様に知っていただきたい《とやま生協の情報》を毎月お伝えしていきます。主な内容は、**事業経営報告・活動報告、理事会報告、重点課題で取り組んだこと**などです。別紙で一緒にお届けしております「**ご意見・ご要望コーナー**」(アンケート用紙)を通して、皆さんが日頃とやま生協を利用して感じること、気になること、聞いてみたいこと、なんでもお気軽にお寄せください。

総代の年間行事スケジュールは下記の通りです。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



第4回
通常総代会

ピースアクションinヒロシマに参加しました

2025年8月4日(月)～5日(火)の2日間、広島県生協連と日本生協連の共催で「2025ピースアクションinヒロシマ」が開催され、全国からのべ約3,300人(オンライン参加含む)が参加しました。とやま生協からは組合員親子4組8名が現地で参加しました。

ピースアクションは、戦争・被爆体験の継承や、世界のさまざまな戦争や紛争、基地問題、憲法など、多角的なテーマで平和を考える生協独自の取り組みです。毎年広島、長崎、沖縄で学習講演会や交流会を実施しています。今年は被爆・戦後80年を機に、次世代への継承を意識し、平和活動に取り組む若者たちとの企画や被爆について語り継ぐ活動を行う方々の講演などが行われました。



「被爆した子どもたちが書いた原爆詩の参加型朗読会」
「演劇集団ふらっと」指導の下、2～3歳で被爆した子どもたちが7年後に原爆詩として書いたものを6グループにわかれて朗読を発表する分科会に参加しました。



その他、資料館として残っている小学校見学や、平和記念公園で組合員から寄せられた折り鶴を参加親子が千羽鶴にして奉納してきました。詳しい報告はとやま生協HPに掲載しています。ぜひご覧ください。

「山田寿美子さん(被爆の証言)」分科会

2歳で爆心から2.3kmで被爆し、父親、母親を原子爆弾で亡くし、原爆戦災孤児として兄妹と一緒に辛い人生を過ごしてきた話を直接聞きました。「もっと被爆の実相を多くの人に知ってほしい、特に若い世代の方にはその思いを継承して行ってほしい。」と語られました。



被爆ピアノコンサートが開催されました

9月15日(月・祝)富山県生活協同組合連合会主催の「第23回平和のつどい被爆ピアノコンサート」が開催されました。

被爆ピアノとは、原爆が投下された1945年8月6日(広島)、8月9日(長崎)に爆心地より約3km以内で原爆の爆風や熱線、放射能等の被害を受けたピアノの事です。被爆者より1台の被爆ピアノを託されたことをきっかけに2001年より被爆ピアノ全国巡演の平和コンサートが行われています。コンサートの中では上記のピースアクションinヒロシマ参加者による報告や、富山大空襲を語り継ぐ会 高校生ボランティアグループ輪音(わおん)などによる取り組みの報告も行われました。



ピースアクションinヒロシマ 報告



被爆ピアノの音色が響きました